

5 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④

〔一〕 次の文章を読んで、あとの問一〜九に答えなさい。(問一〜六はマーク式問題、問七〜九は記述式問題です。)なお、設問の關係で、本文の段落に〔1〕〜〔6〕の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

5 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答题に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(尼ヶ崎 彬「ことばと身体」による。)

(注) ブラックII マックス・ブラック (一九〇九年～一九八八年)。アメリカの哲学者。

問一 傍線部 ㉑～㉔ に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

㉑は解答番号1、㉒は解答番号2、㉓は解答番号3、㉔は解答番号4、㉕は解答番号5の解答欄にそれぞれマークしなさい。

ジューン ㉑ カン

- ① キンカン 日食を観察する。
- ② 消費者に利益をカンゲンする。
- ③ 主張がイツカンしている。
- ④ 難問にカカンに挑戦する。

(12枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

カン①リヨウ

- ① 先頭のシャリヨウに乗る。
- ② 今度はホンリヨウを發揮した。
- ③ 経営者のキリヨウに欠けている。
- ④ 多くの観客をミリヨウする演技だった。

オオザツ⑦パ

- ① ハデな柄の着物を着こなす。
- ② 南アルプスをトウハした。
- ③ 状況をハアクしている。
- ④ 口のハにのぼる。

バイ⑤カイ

- ① 幕府がガカイした。
- ② 事件にカイニユウする。
- ③ 遅刻者はカイムであった。
- ④ 三連勝のカイキヨを成し遂げた。

オ①ヨウセイ

- ① 保安ヨウインを募集する。
- ② ヨウシヤなく時が過ぎる。
- ③ ヨクヨウをつけて話す。
- ④ ここはヨウガンでできた台地である。

問二 a 従来の隠喩論はとありますが、この部分に対する述部として適切なものを、次の①～④の中から全て選び、その番号を答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。(この解答欄では複数マークしてよい)。

- ① 語ろうとして
- ② 置き換えるという
- ③ 行われているのだ
- ④ 説明してきた

問三 X に当てはまる最も適切な語句を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

- ① 私に属性分析を行わせるのではない
- ② 私の態度変更をひき起こすのではない
- ③ 私に相貌の提示を要求するのではない
- ④ 私の心身態勢の喚起をさまたげるのではない

問四 Y に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

- ① むしろ
- ② たとえば
- ③ なぜなら
- ④ さびた

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問五

⑥ 死んだ隠喩とありますが、この例として筆者は、「椅子の脚」という言葉を挙げています。筆者の主張を踏まえると、「隠喩」が「死」ぬとは、「椅子の脚」という言葉がどのような状態になるということですか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- ① 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」を経ても、人によつて異なつた意味で理解されている状態。
 ② 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」を経なくても、誰からも同じ意味で理解されている状態。
 ③ 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」の困難さから、誰にも使用されなくなっている状態。
 ④ 「椅子の脚」という言葉が、「なぞり」を必要としない特定の人だけに理解されている状態。

問六

この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- ① [1]段落で隠喩のメカニズムについての見解を述べ、[2]段落以降でその見解の正しさを検証している。
 ② [2]段落では従来の隠喩論の重要性を認めながらも修正点があることを指摘し、[3]段落で修正案を示している。
 ③ [4]段落は、[3]段落で述べている内容を引き継いで新しい視点から述べ、内容を発展させている。
 ④ [6]段落は、[5]段落の内容を受けて、読み手をロゴスの構造の世界に引き戻すことが文学にも望まれると述べている。

問七

A この変容とありますが、これはどのような変容ですか。七十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問八

B 幼児の世界認識とありますが、これはどのように行われると筆者は述べていますか。筆者の主張を踏まえて、コップが横になっている状態を見た幼児が「コップがおやすみしている。」と言った場合を例として書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

5 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち5)

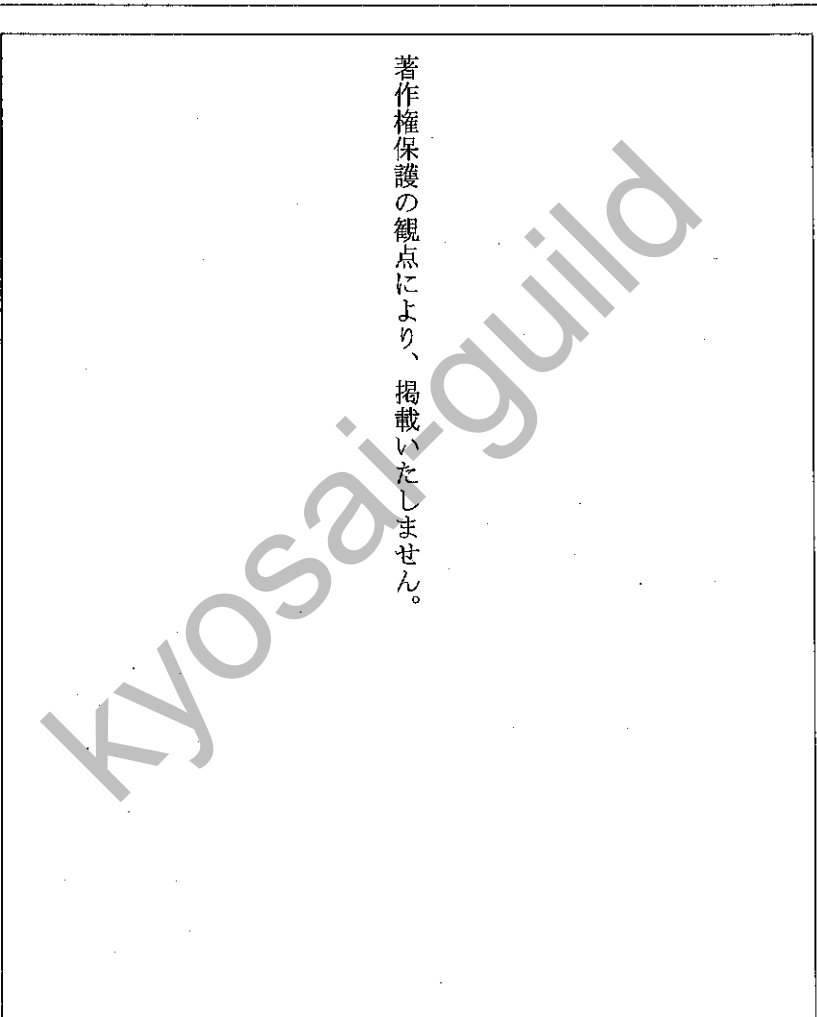
受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問九

C 世界を新たな眼で見ることを、いや生きることと教えるのであるとありますが、ここで筆者が「世界を新たな眼で見る」といふことと「生きる」といふことと述べ直したのはなぜだと考えられますか。その理由について、あなたの考えを、筆者(尼ヶ崎彬)の主張を踏まえ、次の【詩】の傍線部分を取り上げて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【詩】



(高村 光太郎 「道程」による。)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题に記入すること。)

二 次の文章は「堤中納言物語」の一節です。中将の君は、遠方に住む女のもとからの帰途、桜の眺めが美しいあたりで、一軒の荒れた邸に興味をひかれ、そこで女童と、小柄で気品のある姫君の姿を垣間見しました。以下はそれに続く場面です。中将の君の友人である源中将と兵衛佐が中将の君のもとを訪れたところです。これを読んで、あとの問一〜八に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五〜八は記述式問題です。)

源中将、兵衛佐、小弓持たせておはしたり。「昨夜は、いづくに隠れたまへりしぞ。内裏に御遊びありて召ししかども、見つけ奉らでこそ。」とのたまへば、「ここにこそ侍りしか。A あやしかりけることかな。」などのたまふ。

花の木どもの咲きみだれたる、いと多く散るを見て、

あかで散る花見る折はひたみちに
とあれば、佐、

わが身にかつはよわりにしかな

とのたまふ。中将の君、「さらばかひなくや。」とて、

散る花を惜しみとめても君なくは誰にか見せむ宿の桜を

とのたまふ。たはぶれつつ、もろともに出づ。「かを見つるところア たづねばや。」と思す。

夕方、^註殿にまうでたまひて、暮れゆくほどの空、いたう霞みこめて、花のいとおもしろく散りみだるる夕ばえを、御簾巻き上げてながめ出でたまひつる御かたち、いはむかたなく光りみちて、花のほひも、むげにけおさるる心地ぞする。琵琶を黄鐘調にしらべて、いとどのやかに、をかしく弾きたまふ御手つきなど、「限りなき女も、かくはえあらじ。」と見ゆ。このかたの人々召し出でて、さまざまうち合せつつ遊びたまふ。

^註みつすゑ、「いかが女のめでB 奉らざらむ。近衛の御門わたりにこそ、めでたく弾く人あれ。何事にもいとゆゑづきてぞ見ゆる。」と、イおのがどち言ふを聞きたまひて、「いづれ、この、桜多くて荒れたるやどりをばいかで見し。われに聞かせよ。」とのたまへば、「なほ、たよりありてまかりたりしになむ。」と申せば、「^註さるところは見しぞ。こまかに語れ。」とのたまふ。^註かの、見し童に物言ふなりけり。「故源中納言のむすめになむ。まことにをかしげにぞ侍るウなる。かの^註御をぢの大将なむ、迎へて内裏に奉らむと申すなる。」と申せば、「B さらむむぎに、なほ。たばかれ。」とのたまふ。「さ思ひはんべれど、いかでか。」とて立ちぬ。

夕さり、^註かの花には、物いとよく言ふものにて、ことよく語らふ。C 常にわづらはしく聞こえたまへば、人の御文伝ふることだに、^註おほしうみじくのたまふものを。」と。

同じところにて、めでたからむことなどのたまふころ、ことに責むれば、若き人の思ひやり少なきにや、「よき折あらば、今。」と言ふ。御文は、ことさらにD けしき見せじとて伝へず。

みつすゑ参りて、「言ひおもむけてはべり。今宵よくはべるべき。」と申せば、喜びC たまひて、少し夜更けておはす。

みつすゑが車にておはしぬ。花は、けしき見ありきて、入れたてまつりつ。火は物の後ろへ取りやりたれば、ほのかなるに、母屋にいと小さやかにてうち臥したまひつるを、かき抱きて乗せたてまつりたまひて、車を急ぎてやるに、「こは何ぞ、こは何ぞ。」とて、心得ず、あさましう思さる。

中将の乳母、「聞きD たまひて、おば上のうしろめたがりたまひて、臥したまへるになむ。もとより小さくおはしけるを、老いたまひて、法師にさへなりたまへば、頭寒くて、御衣を引きかづきて臥したまひつるなむ、それとおほえけるも、ことわりなり。」。車よするほどに、古びたる声にて、「いなや、こは誰ぞ。」とのたまふ。その後いかが。E をこがましうこそ。御かたちは限りなかりけれど。

(「堤中納言物語」による。)

(注1) 殿 〓 ここでは中将の君の父親の邸のこと。

(注2) みつすゑ 〓 中将の君の家司。

(注3) さるところ 〓 みつすゑの話に出てきた邸のこと。「同じところ」も同じ。

(注4) かの、見し童に物言ふなりけり 〓 中将の君が垣間見した邸の女童とみつすゑが交際していることを表す。

(12枚のうち7)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

(注5) 御をぢの大将 Ⅱ 姫君の祖父。「大将殿」も同じ。

(注6) かの花 Ⅱ 中将の君が垣間見した邸の女童のこと。「若き人」「花」も同じ。

(注7) おほ上 Ⅱ 姫君の祖母。「おほ上」も同じ。

問一 「堤中納言物語」について述べたものとして適切なものを、次の①～④の中から全て選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。(この解答欄では複数マークしてよい)。

- ① 成立は平安時代以降とされる。 ② 歴史物語である。 ③ 短編集である。 ④ 擬古文である。

問二 a 奉ら、 b 奉ら、 c たまひ、 d たまひとありますが、それぞれの敬意の対象の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① a 中将の君 b 中将の君 c 中将の君 d おぼ上
 ② a 中将の君 b みつすゑ c 中将の君 d 中将の乳母
 ③ a 兵衛佐 b 中将の君 c 花 d おぼ上
 ④ a 兵衛佐 b みつすゑ c 花 d 中将の乳母

問三 ア たづねばや、 イ おのがどちとありますが、これらの本文における意味として最も適切なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ選び、その番号を答えなさい。アは解答番号13、イは解答番号14の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- ア たづねばや
 ① 訪れるだろう ② 訪ねてほしい ③ 突き止められてしまった ④ 突き止めたい

- イ おのがどち
 ① ひとりごとで ② 仲間うちで ③ 自慢げに ④ 自信なさげに

問四 ウ なるの文法的な意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号15の解答欄にマークしなさい。

- ① 断定 ② 存在 ③ 伝聞 ④ 存続

問五 A あやしかりけることかな、 C 常にわづらはしく聞こえたまへばの口語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 B さらざらむさきに、なほとありますが、中将の君がこのように述べたのは、みつすゑからどのようなことを聞いたためですか。二十五字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 D けしきとありますが、これは誰のどのような様子のことですか。二十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問八 E をこがましうこそとありますが、これはどのようなことに対して述べたものですか。書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

(12枚のうち8)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

三 次の文章は、「史記」の一節で、周王室の權威が衰えを見せていたころ、諸侯と覇權を争っていた楚の莊王が、次々に諸國を攻めていったときのことか記されています。これを読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五・六は記述式問題です。)なお、設問の關係で返り点・送り仮名を一部省略しています。

是ノ歳滅レス庸ヲ。六年伐レテ宋ヲ、獲ニタリ五百乗一ヲ。八年、伐ニテ陸渾ノ戎一ヲ、遂ニ至レリ洛ニ、觀ニヌ兵ヲ于周ノ郊一ニ。A 周定王、使三王孫滿勞ニ楚王一。楚王問ニフ鼎ノ小大輕重一ヲ。對テ曰ク、在レリ德ニ、不レト在レラ鼎ニ。莊王曰ク、子ア無阻九鼎。楚國ノ折鉤之喙、イ足三以テ為ニルニ九鼎一ヲ。王孫滿曰ク、嗚呼、君王其レ忘レタル之ヲ乎。昔、虞・夏之盛ナルヤ、遠方皆至レリ。貢ニセシメ金ヲ九牧一ニ、鑄レテ鼎ヲ象レリ物ニ、百物ニシテ而為ニシ之ガ備一ヘテ、使三メキ民ヲシテ知ニラ神姦一ヲ。桀有ニリ乱德一。鼎遷ニリス于殷一ニ。注9 載祀六百、殷紂暴虐ニシテ、鼎 X 二于周一。B 德之休明、雖レ小必重。其ノ姦回昏乱、雖レ大必輕。昔成王、定ニム鼎ヲ于郊廓一ニ。トレスルコト世ヲ三十、トレスルコト年ヲ七百ナリキ。天ノ所レ命ズル也。周ノ德雖レモ衰ヘタリト、天命未レダ改マラ。C 鼎之輕重未レダレ可レカラ問フ也ト。楚王乃チ帰ル。

(「史記 楚世家第十」による。)

- (注1) 戎 || 異民族のこと。
 (注2) 洛 || 周の都。洛陽のこと。
 (注3) 王孫滿 || 周の大夫の一人。
 (注4) 九鼎 || 天子の象徴とされた鼎のこと。
 (注5) 折鉤之喙 || 武器の折れはし。
 (注6) 虞・夏 || 虞の舜帝、夏の禹王のこと。
 (注7) 九牧 || 天下を九州に分けたそれぞれの州の長官。
 (注8) 神姦 || たたりをする神や怪物。
 (注9) 載祀 || 年のこと。
 (注10) 休明 || 美しいこと。
 (注11) 姦回 || 悪賢いこと。
 (注12) 郊廓 || 周の地名。

(12枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 対^ヘ曰^クとありますが、この主語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号16の解答欄にマークしなさい。

- ① 定王 ② 王孫滿 ③ 楚王 ④ 司馬遷

問二 ア 無 阻 九 鼎 を、「きうていをたのむなかれ」と訓読する場合、「無」にどのような返り点を施せばよいですか。その返り点として適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

- ① レ ② ニ ③ 三 ④ 下

問三 イ 足 の本文中における意味と同じ意味の「足」を含む熟語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

- ① 発足 ② 土足 ③ 充足 ④ 俊足

問四 X に当てはまる語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号19の解答欄にマークしなさい。

- ① 観 ② 貢 ③ 為 ④ 遷

問五 A 周 定 王、使^三王 孫 滿 勞^二楚 王^一、B 徳 之 休 明、雖^レ小 必 重 の口語訳を、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 C 鼎 之 輕 重 未^レ可^レカ^ラ問^フ也^トとありますが、王孫滿がどのように述べたのはなぜですか。その理由を、それまでの楚王の言動及び、「九鼎」についての王孫滿の考えに触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

(12枚のうち10)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

四 次に示す、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 各学科に共通する各教科・科目 国語 現代の国語 目標 について、あとの問一・二に答えなさい。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) X に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって Y、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

問一 X に当てはまる語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号20の解答欄にマークしなさい。

- ① 具体的 ② 論理的 ③ 総合的 ④ 創造的

問二 Y に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号21の解答欄にマークしなさい。

- ① 思考力や想像力を伸ばし
 ② 広い視野から国際理解を深め
 ③ 生活や人生について考えを深め
 ④ 読書に親しみ自己を向上させ

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 【五】平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 各学科に共通する各教科・科目 国語 現代の国語 内容 C 読むこと (1) イ には、「目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表中の【目標】は、この指導事項に基づいて設定した「思考力、判断力、表現力等」の目標、【言語活動】は、【目標】を実現するための言語活動、【評価規準】は、この単元において設定した「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準です。また、【ポイント】は、批評文を書かせる際の指導のポイントとして設定した事項です。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

【目標】	目的に応じて、文章や図に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めることができる。
【言語活動】	複数のポスターを比較して批評文を書く。
【評価規準】	「読むこと」において、目的に応じて、文章や図に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。
【ポイント】	○ ポスターの内容を解釈させる際には、コピーと図に含まれている情報がどのように相互に関連しているかを分析するとともに、その関連によってどのような効果が生まれているのかを考えるように指導する。 ○ 作り手の意図を解釈させる際には、作り手の考えの強調点を読み取り、なぜこのように表現したのかと、いうことを検討するように指導する。

- 【問い】 あなたは、この単元において、【ポイント】を踏まえた指導を行った上で、次の【学習課題】を生徒に示して、生徒に批評文を書かせる指導をしようとしています。生徒が書く批評文として、「おおむね満足できる」状況(B)と判断できる批評文を具体的に想定し、あとの条件1・2に従って書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【学習課題】

P市では、「海洋プラスチックごみ問題」について市民の関心を高めるため、次の〈募集の趣旨〉に基づいて啓発ポスターを募集し、最優秀作品一点を市の施設や市内の駅などに掲示することにしました。あとの〈ポスターQ〉・〈ポスターR〉は、いずれもその応募作品で、最終選考に残った二点です。〈ポスターQ〉と〈ポスターR〉とを比べてとき、あなたならどちらが最優秀作品としてふさわしいと考えますか。二点のポスターの内容や作り手の意図を解釈し、あなたの考えを批評文にまとめなさい。

〈募集の趣旨〉

近年、廃棄されたプラスチックが海に大量に流入する「海洋プラスチックごみ問題」が、世界的な問題となっています。具体的には、海洋環境、観光・漁業、沿岸域居住環境などへの良くない影響が懸念されています。多くのプラスチック製品を生産、消費している日本も無関係ではなく、この問題の解決に向けて早急に対応していく必要があります。

このポスターを目にした市民の皆様が、この問題に当事者意識をもち、地球環境の保全を見据えた行動を起こせるよう、コピーや図を通して力強いメッセージを伝える作品を募集します。

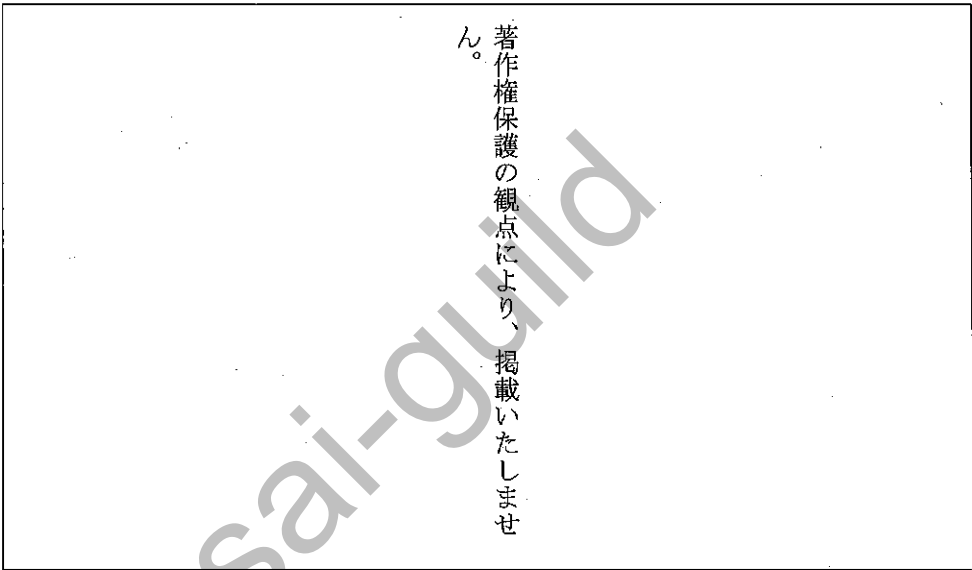
5 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち12)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答题紙に記入すること。)

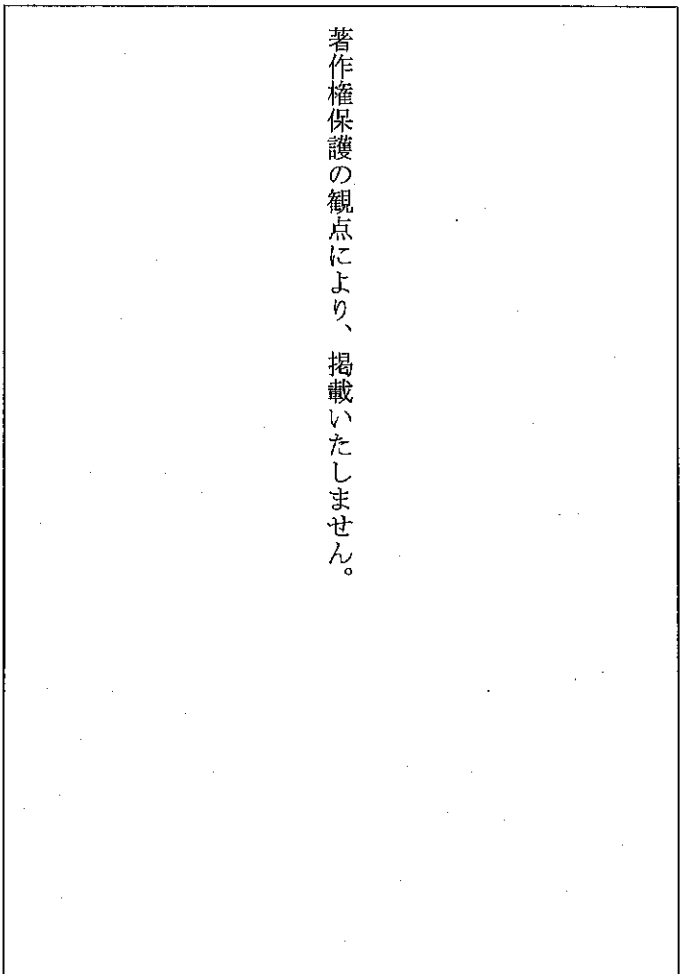
〈ポスターQ〉



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(大阪府ウェブページにより作成。)

〈ポスターR〉



著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(京都市ウェブページにより作成。)

- 条件1 〈ポスターQ〉と〈ポスターR〉を比較して、どちらがふさわしいといえるかを明示すること。
- 条件2 〈ポスターQ〉と〈ポスターR〉の、それぞれについて解釈した内容を取り上げて書くこと。

⑤ 高等学校 国語科 マーク式解答用紙

氏 名

受験番号					
①	①	①	①	①	①
①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②
②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③
③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④
④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

一	解答番号	解答欄
	1	① ② ③ ④
	2	① ② ③ ④
	3	① ② ③ ④
	4	① ② ③ ④
	5	① ② ③ ④
	6	① ② ③ ④
	7	① ② ③ ④
	8	① ② ③ ④
	9	① ② ③ ④
	10	① ② ③ ④

二	解答番号	解答欄
	11	① ② ③ ④
	12	① ② ③ ④
	13	① ② ③ ④
	14	① ② ③ ④
	15	① ② ③ ④

三	解答番号	解答欄
	16	① ② ③ ④
	17	① ② ③ ④
	18	① ② ③ ④
	19	① ② ③ ④

四	解答番号	解答欄
	20	① ② ③ ④
	21	① ② ③ ④

【記入上の注意】

- 1 余白には何も記入しないでください。
- 2 HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
 マーク例 <良い例> ●
 <悪い例> ○ ○ ⊗
- 3 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 4 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。



5

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号

氏名

問題番号				解答欄			
問一～六は、マーク式解答用紙に記入すること。							
問七							
問八							
問九							

5

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号					問題番号
解答欄					
問八	問七	問六	問五		問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。
			C	A	

問題番号			問題番号
解答欄			
問六	問五		問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。
	B	A	

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

高等学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	㊦ 1		各 2 × 5
	㊧ 4		
	㊨ 3		
	㊩ 2		
	㊪ 1		
問二	1, 4	全部合っているものだけを正答とする。	3
問三	2		4
問四	1		3
問五	2		4
問六	3		6
問七	<p>隠喩を理解する過程において、話し手が隠喩として示した事物に対する心身態勢に沿って喚起された身構えで、隠喩の対象を見るようになるという変容。(69字)</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
問八	<p>コップが横になっているのを見た幼児が、自分の現在の経験と同じ型の経験を過去に探し、横たわって寝ている人を過去に「おやすみしている。」という言葉で表した経験と似ていると自覚し、その経験になぞらえて、「コップがおやすみしている。」と捉えている。</p>	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	14
問九	<p>「冬は僕の餌食だ」という隠喩を含んだ表現は、冬を餌食にたとえることにより、餌食という野生動物に餌として食われるものというイメージを読み手に想起させ、それを冬に重ねることで、寒い季節という冬のロゴス的な意味とは別の意味の見方を抱かせている。このことは、単に冬に対する新たな見方を読み手に提示するだけでなく、それを受け取った読み手の感性の幅を広げることにもつながっている。</p> <p>このように、優れた詩は、レトリックを駆使することによって、作者の身体的認識をなぞり、読み手の身体を場としてからだで納得させるという原初の意味生成の場に読み手を連れ戻し、読み手に新たなものの見方を与えてくれるだけでなく、読み手の世界認識の幅を広げてくれる。世界認識の幅の広がり、読み手の感性の幅を広げ、心豊かに生きることをもたらしてくれるということを強調しようとして、筆者は「生きること」と述べ直したのだと考えられる。</p>	問いを正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	16

70

高等学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
三	問一	1, 3	全部合っているものだけを正答とする。	2
	問二	1		3
	問三	ア 4		各 3 × 2
		イ 2		
	問四	3		3
	問五	A おかしなことだなあ	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
		C いつもうるさく申し上げなされるので		
	問六	姫君の祖父が、姫君を入内させようとしていること。(24字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
問七	中将の君の、姫君に懸想している様子。(18字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	
問八	中将の君が、姫君の祖母を姫君と間違えて自分の邸に連れ帰ってしまったこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
四	問一	2		2
	問二	1		4
	問三	3		2
	問四	4		4
	問五	A 周の定王は、王孫滿に楚王を勞わせた	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい	各 4 × 2
		B 徳の美しいときは、鼎は小さくても必ず重いものである		
問六	楚王が、周の九鼎の大きさや重さを尋ね、楚にも九鼎を造るぐらいの力があることを示し、周を威圧してきたことに対して、王孫滿は、九鼎を持てるのは徳のある君主だけであり、九鼎がまだ周にあるという天命も改まっていないとして、楚王が周王を脅かそうとすることを断念させようとしたから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
四	問一	2		4
	問二	4		4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
五	<p>私は、〈ポスターQ〉が最優秀作品としてふさわしいと考える。その理由として、ポスターの構図やコピーが見る人の心を揺さぶり、この問題の深刻さを直感的に悟らせる力をもっていることが挙げられる。</p> <p>〈ポスターQ〉でまず目を引くのは、大きく描かれたクジラである。クジラは目を閉じ、波打ち際で眠っているように見えるが、その横に添えられた「最期の晩餐」という言葉によって、それが死んで打ち上げられたものであることが分かる。</p> <p>「最期の晩餐」という言葉は、このポスターの作り手が、レオナルド・ダ・ヴィンチの作品である「最後の晩餐」をベースにしていると考えられ、有名な作品であるだけに、見る人にも比較的容易にその意味するところが理解できる。</p> <p>また、その「最期の晩餐」が「6キロのプラスチック」であったとすることで、いたたまれない気持ちをかきたてる効果がある。クジラの死因とプラスチックの関係は不明だが、命の尽きる最後に口にしたものが、ごみであったという設定は、人間の感覚でいえば耐え難いものであると想像できる。</p> <p>最後に、「海に流れ込んだプラスチック」によって、多くの生命が失われるという事実を小さな文字で簡潔に示し、多くを語らずとも、クジラに起きた不幸が人間の所業によるものであると結び付け、どの人にとっても他人事ではないのだということを強調し、見る人に自覚を促す働きがある。</p> <p>一方、〈ポスターR〉は魚に見立てたペットボトルや、クラゲのようなレジ袋を魚とともに配置し、「新種発見？」とコピーを付すことで見る人に斬新な印象を与えるところが特徴である。</p> <p>また、「新種発見」は、作り手の皮肉が強調されていると考えられ、その下の「このままでは将来、海中のプラスチックの量が魚の量を上回る」という情報と合わせて、あたかも外来種が在来種の生態系を破壊してしまうほどの深刻さがあるものとして、海洋プラスチックごみ問題を提起している。</p> <p>さらに、「使い捨てプラスチックによる海の汚染」という情報を入れることで、飲食店やコンビニなどで提供されるストローやスプーンを想起させ、自分たちの身近な所から問題が発生していることが分かるようになっていく。</p> <p>〈ポスターQ〉と〈ポスターR〉を比べると、人の感情に訴えかけるという点では、〈ポスターQ〉の方がインパクトが強いといえる。〈募集の趣旨〉に「力強いメッセージを伝える」とあり、〈ポスターQ〉のクジラの死骸の大きな図と、簡潔でありながら要を得たコピーを通して強いメッセージを発しようという作り手の意図がよく伝わってくる。〈ポスターR〉は斬新な構図が目目を引くが、説明が丁寧で分かりやすいだけに、インパクトの点では〈ポスターQ〉の方が印象が強いといえる。</p> <p>以上のことから、私は、〈ポスターQ〉を最優秀作品として推挙する。</p>	<p>〈ポスターR〉を選択してもよい。問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	50